

クサムスビ

EXTRA
ISSUE



『冷たい水、涼しい風』『新少女』1巻5号《大正4年(金沢湯涌夢二館蔵)》

お寺でアート

オテラート

竹久夢二とこども

9月1日～9月9日

夢二の妻「岸たまき」生家の菩提寺、浄光寺で開催！

八月二五日から九月九日まで

十六日間の日程でオテラート

金澤2018が曹洞宗、日蓮宗、真

言宗、浄土真宗の十一カ寺を会場に

開催されました。今年のテーマ「生

きとし生けるもの」を題材に国内

外の作家や学生など七十名が作品展

示。また五十を超えるワークショップ

等も開催され、多くの方がアートの

やお寺に親しんでくださいました。

浄光寺が、竹久夢二の妻、岸たま

きの生家の菩提寺であるという

ご縁で、夢二を題材に作品を制作しま

した。美人画で有名な夢二ですが、子

供思いでもあったという一面にスポッ

トを当てて、夢二が子供たちのために

残した「生きとし生けるもの」を中心

としたイラストを題材に、森山町小学

校三年生五十名と沈金師の芝山佳範

さんが一緒に立体作品を制作。子供た

ちが作った色とりどりの生きものを境

内や本堂のいたるところに展示しまし

た。来場者の皆さんには、今回のため

に作製した『夢二生きもの図鑑』を手

に作品探しを楽しみながら作品鑑賞し

ていただきました。また夢二が残した

童謡を小学生が暗唱。その様子を撮影

影編集した映像作品も常時上映しまし
た。最終日には金沢湯涌夢二館館長の太田
昌子氏を講師としてお迎えしてトークイ
ベントが開催されました。

仏前結婚式



その他、6名の作家や学生の作
品展示やオテラートならではの

演出満載の「オテラートウェディ

ング」(仏前結婚式)、夢二をテー

マにした「生きとし生けるもの重陽の

茶会」、縁日や駄菓子子の「駄菓子屋

かふえ」、「プラネタリウム投影会」、

「コーヒー飲み比べ講座」、「レザ

ークラフト体験」、「3Dプリント獅子

頭色付け体験」、「クイズラリー」な

ど様々な関連行事も開催しました。



夢二は子供たちが絵を上手に描けるようにと多くのイラストを残しています。そのイラストを原本に小学生が生きものを立体作品を制作し色付けをしました。制作に参加した子供たちはもちろんのこと、多くの来場者が夢中になって作品探しをされていました。全部見つけて下さった方には夢二館より素敵な記念品が進呈されました。



オテラート最終日、今回の企画の締めくくりとして講師に金沢湯涌夢二館館長の太田昌子氏をお迎えしてトークイベントを開催。夢二の子供思いの一面や岸たまきと浄光寺の関係など丁寧にお話しくださいます。また岸家の子孫である岸九郎さんがはるる千葉より駆けつけてくださり貴重なご縁を頂戴することとなりました。

「トークイベント」
 竹久夢二の妻（岸たまき）
 と三人の子供たち」

講師 太田昌子
 9月9日（日）午後3時



その他、夢二の作品のパネル展示や夢二塗り絵、お茶会なども開催。沈金師の芝山佳範さんがお茶会のために夢二を題材とした棗を制作しました。



駄菓子屋かふえ



コーヒー講座



プラネタリウム



東山地区住職ツアー



アメリカ人ツアー



レザークラフト



VR 森山町小学校



3D プリント獅子頭色付け体験



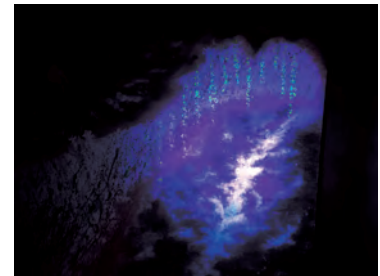
東山地区寺院ストラップ
(ガチャガチャ)



作田賢三 (金沢学院大学芸術学部)



芝山佳範 (沈金師)



下橋晶 (仏画アーティスト)



久家志穂 (金沢美術工芸大学彫刻専攻)



坪田凌哉 (金沢学院大学芸術学部)



田中美路 (NY 在住陶芸家)

「春の法要バス旅行」

四月一日(日)

京都東本願寺で執り行われた春の法要（親鸞聖人御誕生会）に浄光寺から団体参拝させていただきました。また親鸞聖人が幼少期を過ごされた日野の法界寺も訪ね幼き聖人が向き合われた阿弥陀如来に手を合わせ、縁をいただくことができました。



東本願寺御影堂

◎参加者の声・其の一

野間映実子（中学生）

東本願寺は金沢では見たことのないぐらいの大きさで、それにとっても驚いた。本堂は立派な木造の柱で、造りがしつかりとしていて強いと感じることができた。きれいな灰色の屋根瓦に対して漆黒の屋根内とほどこされた金の装飾と白が映え、それらに大きさも加えられ威圧感を感じられるほどだった。

親鸞聖人御誕生会では金沢ではないようなことが多くあった。まず、寺内が広いこともあって多くの参詣人がいて、普段はわからないが、多くの人が親鸞聖人の誕生会を祝っているのではないかと思った。次に入堂された内陣・余間・外陣出仕者の多さに驚いた。また今回の親鸞聖人御誕生会では、金沢で聞いたこ

とのない「音楽法要」が最大ではないかと思った。内陣・余間・外陣出仕者や導師が入堂、退堂する時にはエレクトーン奏樂によったもので、浄土和讃や高僧和讃などの合唱ではテノール独唱や混声合唱など本格的なものでも驚いた。音が加えられることで荘厳さが表現されていると思った。

このように親鸞聖人御誕生会は有名な東本願寺で大規模に行われたので親鸞聖人はそれほど有名で大切にされている方なんだということがわかった。

◎参加者の声・其の二

河合道子

私にとって東本願寺（真宗本廟）はもちろん、別邸「涉成園」も始めてで想像も出来ない旅のはじまりでした。親鸞聖人御誕生会の音楽法要に出会え忘れることが出来ない日となりました。この時期は、まだ肌寒く早朝に浄光寺へ立ち寄り、バスは満席となり一路京都へと向かいました。最初の参拝は親鸞聖人誕生地である日野薬師「法界寺」を訪ねまし



法界寺（日野の里）

訪ねました。住職のお話を聞き、聖人が両親と早くに別れ9歳まで過ごされたお寺で、国宝に阿弥陀堂、阿弥陀如来座像と数多くの重文の仏様や壁画、建物を有しており、日野家の菩提寺として八百余年の歴史を伝えております。特に阿弥陀如来座像は丈六の仏像で穏やかな表情で自然に手を合わせていました。

お昼は法要期間中、涉成園での粥膳は一日2回で各回120名の定員で人気があり、予約者で満席



音楽法要

です。食事は全員の配膳が終わるまで待ち、食前のことばを唱和してから食べ始め、量が少ないと思いましたが、おかわりも出来美味しく頂き、おながが満たされました。食後のことばも全員で唱和をして終わりました。お粥は真宗本廟にお供えしたお仏飯のお下がりをういて調理したもので、有り難く頂きました。

音楽法要は名のとおり本来ならば僧侶のお経による進行が、エレクトーン奏楽、合唱団による混声合唱、テノール独唱など音楽法要の荘厳さに感動しました。終了後の自由期間



渉成園

には修復された阿弥陀堂を見学しました。内陣の金箔は一段と映え、光り輝いていました。住職のお話では浄光寺門徒の方が納入したと聞き改めて金沢の金箔工芸の知名度を知ることが出来ました。昼食会場の渉成園の庭園散策を楽しみました。
今回の本願寺参拝は私にとっては初めての体験で境内から眺めた御影堂と阿弥陀堂は壮大なものすごい大きさに驚きと威厳に感動し忘れることの出来ない旅となりました。参拝の機会を作って頂いた住職に感謝を申し上げます。

「寺と音と語り」

六月十日(日)

語り 市川幸子

トランペット 池下知子

ピアノ 棒田美江

地元(森山と馬場)や浄光寺を舞台とした時代小説で三年前のオテラートでも題材にさせていただいた時代小説『獅子で勝負だ、菊三』(剣町柳一郎作)を東山「響会」が演出。東山「響会」では、東山寺院群のお寺を会場として、その歴史・そこにまつわる物語などを朗読を交えたコンサート「寺と音と語り」を開催されています。今回浄光寺では、語りとトランペット、ピアノのコラボレーションで『獅子で勝負だ、菊三』の世界観を見事に表現してくださいました。情のこもった語りと素敵な演奏、そして目の前には小説に登場する獅子と本堂、境内の大銀杏・・・思わず実際に、幕末そんな話があったかのように錯覚してしまいうように(小説はフィクション)。またトランペッ



トの表現力や本堂との相性の良さにも驚かされました。
個人的に思い入れのある作品がこのようなかたちで新たに息を吹き込まれるご縁をいただくことができ大変うれしく思います。
このようなまたとない機会を企画してくださった「響会」と出演者の皆様、そして当日駆けつけて下さった著者の剣町さんに感謝申し上げます。

小学生×立川流×浄光寺

第六回 おてらぐい

五月十一日(金)
十三日(日)

法話 浄光寺住職
落語 立川志らら
笑福亭 鶴瓶さん



五月五日～十三日まで前期・後期の二期に渡り「第六回おてらぐい」が十六カ寺を会場に開催されました。落語家さんはおてらぐいではおなじみの三人。立川流からは立川志らく師匠の弟子、立川志ららさんと立川吉幸さん、笑福亭からは笑福亭鶴瓶さんの弟子の笑福亭瓶二

さんをお招きしました。落語を縁に気軽に仏法に触れていただければと開催してきた「おてらぐい」ですが、おかげさまで今年も大変多くの方に足をお運びいただくことができました。また昨年同様、一般向けの公演の他、森山町小・馬場小・浅ノ川小の三校を招待しました。

十日、午後二時、森山町小学校の四年生と五年生約一〇〇

名がおてらぐいに参加しました。小学生を招待するのはこれで五回目です。オテラートなどでも本堂を訪れているということもあり皆さんリラックスした様子。例年通り「正信偈」の唱和と法話と落語の順に進行していき

ました。先ずは「正信偈」を唱和。はじめの子も多くいたようですが、みんな一生懸命声を出してくれました。続く住職の法話では「いのちのつながり」についてお話しさせていただきました。次はいよいよ落語の時間。昨年までは毎年小学生が前座で落語を披露してくれていましたが残念ながら今回は落語をしてくれる子がいませんでした。おてらぐいが縁で学校にできた落語クラ



ブもなくなったそうで少し寂しくなりましたがきつとまた復活してくれることでしょう。

落語は毎年子供たちに大人気の立川志ららさん。「親子酒」、「つる」の二席を披露してくださいました。最初は戸惑っていた子もいましたがあっという間に落語の世界に引き込まれていきました。恒例の質問タイムも盛り上がり、おかげさまで今回も終始笑い声が絶えない賑やかな時間を共有させていただきました。

平成31年回忌表

- 一周忌・・・平成30年(2018年)
 - 三回忌・・・平成29年(2017年)
 - 七回忌・・・平成25年(2013年)
 - 十三回忌・・・平成19年(2007年)
 - 十七回忌・・・平成15年(2003年)
 - 二十三回忌・・・平成9年(1997年)
 - 二十五回忌・・・平成7年(1995年)
 - 二十七回忌・・・平成5年(1993年)
 - 三十三回忌・・・昭和62年(1987年)
 - 三十七回忌・・・昭和58年(1983年)
 - 五十回忌・・・昭和45年(1970年)
- ※()内の年忌法要を勤める場合があります。法要のご依頼はお早め。

第二回「寺キャン」



夏休みに小学生の子供たちがお寺でキャンブ！お参りや朝の鐘撞き、カレー作り、すいか割り、花火、肝試しなどを楽しみながら本堂にお泊りしました。



「おかげさま」について話させていた
だきました。落語は立川吉幸さんが担
当。三年ぶりの登場となります。古典
落語の「たいこ腹」と「権助魚」の二
席を楽しませていただきました。いよ
いよ真打に昇進される吉幸さん。今後
のご活躍が楽しみですね。



十日、日曜
三日、日曜
十日、午前
十時半からは一
般の部。雨模様
でしたが有難い

年中行事

「除夜の鐘」・「修正会」

大晦日・元旦



響流する鐘の音に包まれながら皆
様と共に新年を迎えることができました。午前零時より本堂では「修正
会」が勤まり、どのように生きてきて、
どのように生きていくのかみ教えに
たずねました。また篝火^{かがりび}が焚かれた
境内では温かい食べ物や飲み物も提
供されました。

「お太子さん」

三月二十一日

鈴木大拙館館長 木村宣彰

十五 years を超える長きご縁をいた
だいている鈴木大拙館館長の木村
宣彰先生が今年も聖徳太子御忌「お
太子さん」のご講師を勤めてくださ
いました。親鸞聖人はご和讃に「和
国の教主聖徳皇」と太子は日本のお
釈迦さまであるときまで詠われてい
ます。なぜそこまで聖人はお太子さ
んのことを大切にしたのでしょう
か。そして私たちはお太子さんをど
ういただいているのか。太子の御木
像を前に改めて耳を傾けました。



「追弔会」

八月十三日

順教寺住職 細川公英



八月十三日、「追弔会」が執り行
われました。お盆ということもあり、幅広い年代の方がお参りされま
したが、どなた様も亡き人が私たち
に結んでくださった仏縁を大切に
いただいていたかれました。ご法話に
は今回初めて、金沢市北寺町より順
教寺住職の細川公英師をお迎えし
ました。仏からの願いについて熱の
こもったお話を丁寧にしてくださ
いました。

「報恩講」

十月十七日・十八日

道因寺住職 相馬 豊

十月十七日、十八日の両日、当寺「報恩講」が厳修されました。報恩講をお迎えするにあたり十月八日には本堂の仏具を磨きました。有難いことに初参加の方も多くあり一緒に仏さまのお手伝いをさせていただくご縁をいただきました。

報恩講「逮夜」並びに「日中」のご法話は、昨年に引き続き相馬豊師（白山市・道因寺住職）がお話くださいました。普段私たちが喜びとしているその喜びの内容を問われる思いで聞かせていただきました。両日ご法話の後にはお斎の接待があり、お



世話くださった手づくりのお斎をありがたく頂戴いたしました。「初夜」では、昨年に引き続きDVD『七高僧ものがたり』を上映。七高僧下三祖の生涯を通してお念仏の教えをいただきました。

また親鸞聖人の祥月命日にあたる十一月二十八日には、当寺開法会恒例の「きこまいけ報恩講」が開かれ、この日の為に正信偈の練習を重ねてこられた参加者の皆さんが中心となって報恩講のお勤めをしてくださいました。住職の法話の後にはぜんざいをいただいて今年度の「きこまいけ」を締めくくりました。尚、次年度は三月二十八日より再開します。一緒に正信偈を学びましょう。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



情報誌「月刊クラブズム」
一月号に掲載されました。

聞いてよ！お坊様

お坊様が読者の質問に答える相談コーナー！
其の13

ダイエットが続きます。

痩せたくてスポーツジムに登録しましたが、「今日はいっか」が続いてまうたか行けていません。これまで色々なダイエットに挑戦しましたが、続いたためしがありません。本当はダイエットなんがしたくないのですが、太っている自分に落ち込むのでなんとかして痩せたいです。どうしたら目標のために続けられる

と

ても他人事とは思えませんが、実は今回のご相談を拝見させていただいた方たちやその日、病院で「検査の数値が悪くなっていますね。もっと運動して体重を落としましょう」と言われたところだったからです。恥ずかしながら私も「運動しないいながらも、まさに今日はいっかの日だからです。」

「若存若亡」という言葉があります。ダイエットに成功した、失敗した。体重が減った、増えた。一喜一憂して定まらない私たちの姿を言い当てています。いくら「ダイエットするぞ」と決意を固めても、縁次第でダイエットが成功することもあるし、失敗することもある。成功したとしても縁を大切に「一歩ずつ、お互いに」

今月のお寺さん
浄土真宗大谷派 龍向山 浄光寺
金沢市森山2-19-32
☎076-252-4922
info@jhokoji.net

住職 藤任章さん
毎月の開法会「きこまいけ」や「おでらくご」、「オテラート」など寺に親しみ縁を作る活動に勤しむ。所属の「仏教に学ぶ会」では一般向けの座談会や講座も。除夜の鐘を大晦日午後11時半から行う。

お坊様に聞きたいこと。大募集！
年齢、性別を明記の上、「Clubism」HPの読者投稿募集から応募ください。
http://www.k-club.co.jp/clubism

1年中行事

- 一月「修正会」元旦（午前0時）
- 三月「お太子さん」彼岸中日（午後一時）
- 七月「孟蘭盆」十三日〜十六日
- 八月「追平会」十三日（午前十時）
- 十月「報恩講」十七日（午後一時半・七時）十八日（午前十時半）
- 十二月「除夜の鐘」大晦日（午後十一時半）
- ※毎月二十八日「きこまいけ」（午後二時）

行事のご案内

「お太子さん」

日 三月二十一日（祝）

時 午後一時

法話 木村宣彰師（鈴木大拙館館長）

「おでらくご」

日 五月十三日（日）

時 午前十時半

落語 笑福亭瓶二

■三月二十八日より「きこまいけ」を再開いたします。